

2018 年 10 月 30 日

1. 基本情報

- (1) 国名：ウクライナ
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：キエフ市
- (3) 案件名：対ウクライナ草の根・人間の安全保障無償資金協力「キエフ市立退役軍人病院リハビリ機器整備計画」
- (4) 計画の要約：

本計画は、キエフ市立退役軍人病院のリハビリ施設を整備することにより、障害等を負った患者のリハビリ環境を改善し、もって基礎的社会サービスの改善を通じた同国の経済社会開発に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

ウクライナは、欧州第2位の面積及び同第7位の人口を有する地域の大国であり、また、EUとロシアの間に位置することから、地政学上、地域の安定を実現する上で重要な役割を担っている。経済・社会の安定化とともに、民主国家として再建を図るウクライナに対し、G7を含む主要な国際社会と協調しつつ、我が国として支援を行うことは、極めて重要である。

我が国は、ウクライナ国別開発協力方針(2017年7月)の重点分野の一つとして、国民の生活・環境改善を挙げており、中央政府や地方政府が、慢性的な財政難から保健・医療インフラの老朽化に対応できていない中、我が国が国民生活の向上に寄与する公共サービスを支援する本計画は、同開発協力方針とも合致する。

本計画は、2014年以降の東部情勢を受け、反テロ戦線に従事した人々の中でも特に深刻な身体的ないし精神的な障害を負い、戦線復帰が不可能な者等が利用できる病院にリハビリ機器を供与するものであり、本計画を通じて、これら人々の一般的な社会生活への復帰をサポートし、また、医療サービスを提供することは、同国の経済・社会安定化に寄与するものであることから、本計画を実施する外交的意義は高いと考えられる。

- (2) 当該国における基礎的社会サービスの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

ウクライナ政府は医療・保健及び教育分野における改革を進めているが、制度・財政状況ともに国民に対し十分なサービスを提供できない状況にあり、財政難から老朽化した設備を更新することが困難であることから、基礎的サービスの質の向上が喫緊の課題となっている。こうした中、本計画は、病院のリハビリ施設を整備することにより、同国の基礎的社会サービスの改善に資するものである。

3. 計画概要

- (1) 計画概要

① 計画内容

本計画は、キエフ市立退役軍人病院のリハビリ施設を整備することにより、障害等を負った患者のリハビリ環境を改善するものである。

② 期待される開発効果

キエフ市立退役軍人病院で治療・リハビリを行う少なくとも 2,000 名が直接裨益する。

③ 計画実施期間

（被供与団体）NATO 支援・供与庁，（協力対象主体）キエフ市立退役軍人病院

（2）その他特記事項

- 特になし

以 上